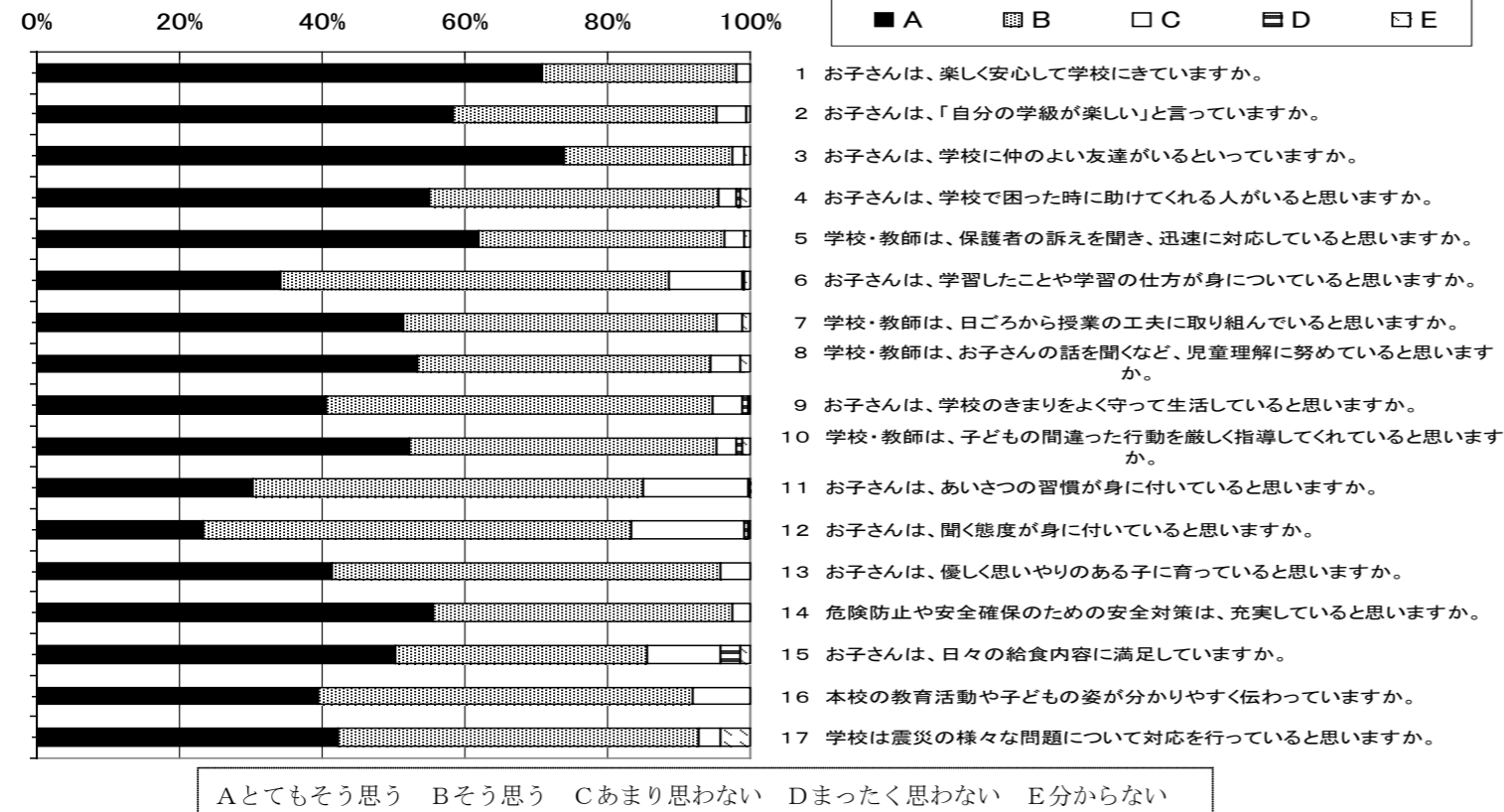


# 学校評価結果のお知らせ(児童・保護者)

1学期末には、保護者の皆様には学校評価にご協力をいただきありがとうございました。児童と保護者の評価結果をお知らせします。この結果を真摯に受け止め、教職員一同、今後より一層努力したいと思います。

平成23年9月5日(月) お茶の水小学校 校長 小林 勇司

## 学校関係者評価結果(保護者)



### 【保護者結果考察】 (7月上旬 質問紙によるアンケート調査)

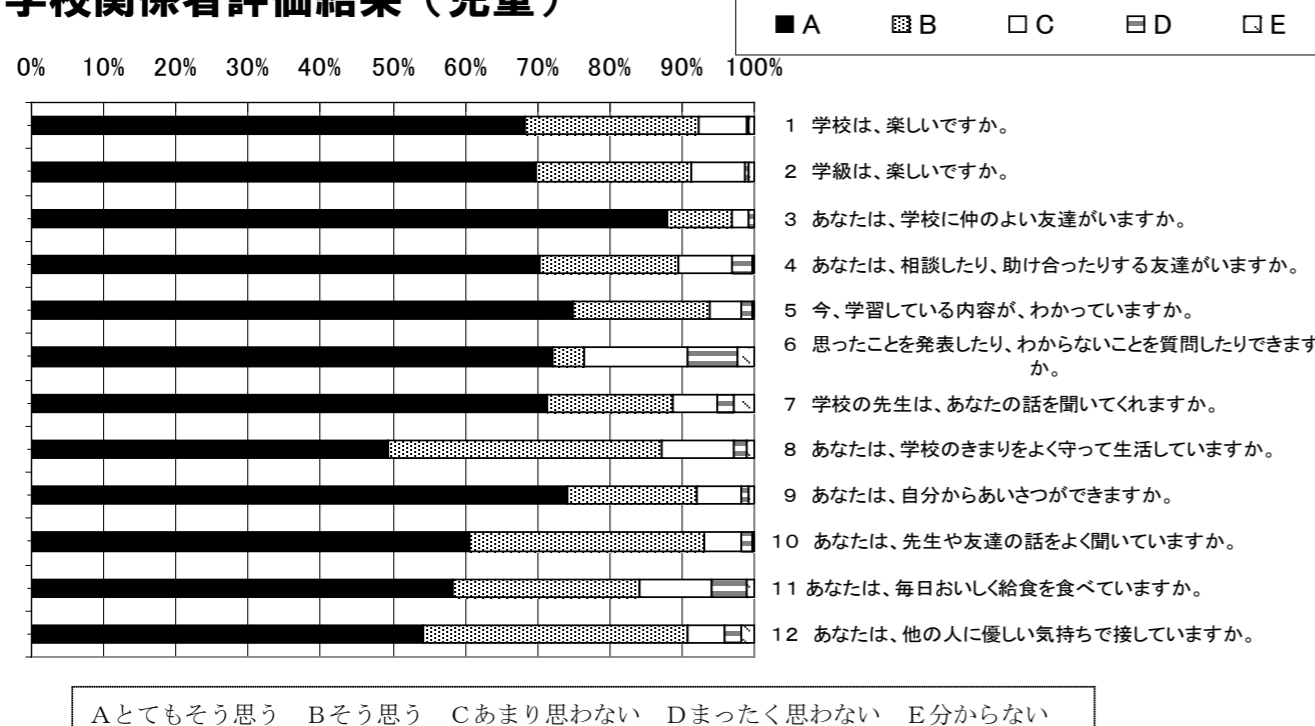
**全体** 全ての質問に「とてもそう思う」「そう思う」と80%以上の評価を得ることができ、学校の取り組みについておおむね理解が得られていると考えます。今年度は、東日本大震災を受け千代田区や本校でも様々な取り組みをいたしました。保護者の皆様のご協力もあり、円滑に対応することができました。どうもありがとうございます。

#### 課題

**問12「聞く態度の育成」**については、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせると80%強の評価を得ています。しかし、「よくできている」という評価は24%でした。「学習の理解に時間がかかる」「最後まで聞かずに、先走って行動してしまう」「聞いてはいるが、注意深く聞くまでには至っていない」などの様子が児童に見られることから、このような評価になっていると考えられます。話す方も聞く方も「最後までしっかり聞く」という習慣が身に付くよう心がけていくように、繰り返し指導していきます。

**問15「給食」**については、自然のだしに着目して味付けをしております。今回の結果とお茶の水小学校の児童の実態を踏まえてより満足していただける給食に改善していきます。また、給食時間は「食育」を実践する有効な時間です。給食中に子どもたちが「食」に対して様々な興味・関心をもてるよう指導しています。

## 学校関係者評価結果(児童)



### 【児童結果考察】 (7月上旬 質問紙によるアンケート調査)

**全体** 全ての質問に対して、「とてもそう思う」「そう思う」と85%以上の評価をし、特に、**問3「仲良しの友達」****問5「学習内容理解」**など7項目に関しては、90%以上の高い評価をしました。おおむね、学校生活に満足している子どもの姿が伺えます。

**課題**「挨拶」について子どもは**90%以上が自分から挨拶できると解答していますが、保護者アンケートでは15%の方が「そう思わない」と回答されています。子どもたちとの認識のずれを埋めていくために気持ちのいい挨拶を考えていきたいと考えています。**

**問6「思ったことを発表したり、わからないことを質問したりできますか」**では、「あまり思わない」「まったく思わない」と答えている割合が15%と多く、中学年以上にその割合が多くあります。自信がない、恥ずかしいなど積極的に発言できない児童がいると考えられます。昨年度に引き続きの課題としてあげられます。小グループでの話し合いを積極的に取り入れ、自分の思いをみんなの前で発表する1分間スピーチ、短文紹介などを行い、発表する機会を意図的に作り、継続的に手立てを講じていきます。

**問7「学校の先生は、あなたの話を聞いてくれますか」**では、「あまり思わない」「まったく思わない」と答えている割合が8%です。話の内容が高学年になるにつれて変化していくため、その割合は、高学年の方が高い傾向にあります。教師は、子どもたちが質問や相談しやすい環境・雰囲気づくりに心がけるようにします。また、積極的にはたらきかけ、距離感を縮めるようにしていきたいと思っています。

Aとても思う B思う Cあまり思わない Dまったく思わない E分からない